

# 玉井小だより

平成27年5月13日  
大玉村立玉井小学校  
TEL (48) 3302  
発行者 校長 佐藤一男

## いよいよ運動会です



【6年生の応援旗】

5月も中旬に入りましたが、朝晩は冷え込み、日中暑くなる日が多く、子どもたちも体調を崩しがちだったようです。

いよいよ今週16日(土)は運動会です。子どもたちは精一杯がんばって、力を出し切ったときに成長します。子どもたち一人一人が持てる力を出し切れるよう、早めに休むよう声をかけるなどご家庭でも体調管理にご配慮願います。

1年生が元気な成長を願って鯉のぼりの絵を描きました。高学年のクラスでは応援の旗をつくりました。運動会当日が全校児童みんなそろって楽しく、充実した一日になるよう全職員心を一つにして指導しております。



【1年生の描いた鯉のぼり】

## 幼稚園脇の空き地に畑をつくりました

あの震災から4年が経過しました。これまでも子どもたちに土に触れる体験をさせてやりたいと幼稚園の先生方とも相談しておりました。幼稚園の北側に空き地があり、そこを何とか畑にできないかと考えておりましたが、地面が固く、トラクターでも耕せないだろうと、そのままになっていました。

先日、保護者の鈴木昭彦さんが重機を持って来て、その空き地を掘り返し、石を取り除き、柔らかくしてくださいました。朝から一日がかりの作業でした。さらに11日にはトラクターで耕してくださいました。本当にありがたく、感謝の気持ちでいっぱいです。学校や幼稚園の職員だけではどうにもなりませんでした。



【重機を持ち込んだ作業】

この後は、村の商工会から肥料をいただいて、畝をつくる予定です。そして村役場の方に線量を測定してもらい、安全が確認されたら、栽培活動を始めます。幼稚園児もサツマイモを作るのを楽しみにしています。小学校でも栽培活動に取り組みます。

生き物を育てたり栽培したりする経験を通して、子どもたちは命の尊さや食物の大切さを知っていきます。本当に良かったと思っています。皆様方のお力のおかげです。ありがとうございました。



【立派な畑ができました】

## 日本一美しいあいさつを



学校のプールのある高台に登ると、大玉村の田んぼや畑が一望できます。ゴールデンウィーク明け、田んぼにも水が張られ、苗が植えられました。一面光り輝いています。『日本で最も美しい村連合』へ加盟している村の見事な景色です。

村長さんからもお話しいただいているように、「『日本で最も美しい村』で日本一美しいあいさつを」と願い、子どもたちも美しいあ

【プールの脇から見た景色です】 いさつを広げる取組を続けています。毎朝、児童会が中心となり、昇降口であいさつの言葉かけをしています。

「自分から進んであいさつをする」ということは、自分から人と関わるといことです。主体性とか積極性といったものも、そのような日々の繰り返しの中で育まれるのだと思っています。



【朝の昇降口の様子】

## 一緒にアサガオの種をまきました



【「お兄ちゃん、よろしくね】



【みんなでやるから楽しいね】

5月8日、幼小中連携事業の一環として1年生が幼稚園の年少組の子どもたちと一緒に、アサガオの種を蒔きました。

そのときの様子を幼稚園の副園長の文江先生がうれしそうに話してくれました。

年少組の小さな子の手が土で汚れているのを見て、1年生が『手はパンパンするんだよ。』と手をたたいて土を落として見せたり、植木鉢を親切に運んであげたりしていて、とても微笑ましい姿だったと言うのです。

「自分は小学校の1年生なんだ、お兄ちゃんなんだ。面倒見ないといけないんだ。」という自覚があるのだと思います。

1年生の子どもたちもついこの間までは、幼稚園児だったはずなのですが、小学校入学を節目に一気に成長したようです。

人は、いろいろな人とのかかわりの中でぐうんと大きく成長するのだと思いました。

## お知らせ

校庭の汚染土の搬出作業が終わりました。運動会に間に合わせるよう、業者の方も一生懸命に作業を進めてくださいました。

運動会の駐車場は、校庭になります。例年どおり校庭に車を停めてください。